



# 風にのって〜

12月

2018.12.01

勢和図書館 TEL 0598-(49)-4500

<http://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>

「クリスマスはスゴイ! In LIBRARY 2018」

12月9日(日) 13:00~16:00

★ほんとかフェ・みそしるカフェ★

コラボ: Oyatyuya+109さん

Green Bear さん

食改協さん

<イベントプログラム>

13:15~ 英語で楽しむアーノルド・ローベル

14:00~ 石井桃子さんドキュメンタリー映画上映会③  
クリスマスおはなし会

15:00~ ゴスペルコンサート



『ふたりはいつも』

『Frog and Toad All Year』

日	月	火	水	木	金	土
12月						1 おはなし会
2	3		5 おはなし会	6	7	8 おはなし会
9 おはなし会	10		12	13	14	15 おはなし会
16	17		19 おはなし会	20	21	22 おはなし会
23	24		26	27 おはなし会		

## ~12月のお知らせ~

●勢和中学吹奏楽部クリスマスコンサート

12月1日(土) 13:30~

毎年大人気! 勢和中生によるクリスマスコンサートです。ぜひお楽しみに!

●クリスマスはスゴイ! In LIBRARY 2018

12月9日(日) 13:00~16:00

クリスマス英語で楽しむ絵本やコンサート、石井桃子さん上映会最終回も! カフェのコラボは Oyatyuya+109さんと Green Bear さん。年に1度の「みそしるカフェ」も!!

●新刊おはなし会「新紙鶴」(予約)

12月15日(土) ①10:30~②13:30~

「連続」と「クリスマス折紙」を教えていただきます。素敵です!

●冬休みブッククラブ In 勢和図書館 2018

12月27日(木) 13:30~

今年の冬は『魔法使いのチョコレートケーキ』! 1日バージョンのブッククラブだよ!

●<定例>図書館で「移動図書館! ?」

12月5・19日(水) 16:00~18:00

みんなで楽しく選んでね!

●<定例>おはなし会「おはなし会」

12月19日(水) 10:30~ 0~3歳児向け

あかちゃんのための「わらべうた」と絵本!

●<定例>おはなし会(絵本・ストーリーテリング)

12月8・22日(土) 10:30~

保育園児から小学生、もちろん大人の方も!

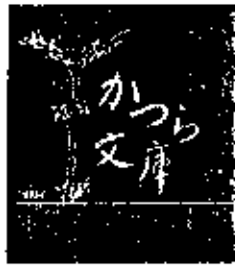
★ 早耳情報! 杉山亮さんものがたりライブ ★

1月10日(木) 19:30~

大人も子どもも楽しめるライブ!!

ぜひお楽しみに! (勢和図書館にて)

★ 今年(2018)は12月27日(木)まで、新年は1月5日(土)からの開館となります。ぜひお楽しみください。



かつら文庫の50年



『かつら文庫の50年』  
東京子ども図書館 (2008)  
(0162カ)

石井桃子さんが1958年にはじめてこの小さな  
文庫は、その後、日本の図書館で死ぬ本  
を子ども呼ぶ大きな夢を掲げました。  
(文庫卒業生 阿川佐和子さん様御礼！)  
マーガレット・マーヒー

『魔法使いのチョコレートケーキ』  
福音館書店 (2004) (933マ)

この石井桃子さんが読んでた名著に挑戦  
するの、今年の冬休がゾクゾク！ 耳を  
開いて楽しむスタイルも石井さんが特に  
重要視されていくことに可。



そして1月10日には杉山亮さん！  
「もあがていこう、ちやうど期待!!」

吉本ばなな

『切なくそして幸せな、タピオカの夢』  
幻冬舎 (2018) (914.6ヨ)

父が作ってくれた、旨いおいしいおかし  
息子と食べた、まいにちのごはん。どう  
して「味」の言い換えは、(この店に大蛇に  
しまわれて、ふとした目に  
自分を支えてくれるものかも  
しれませぬ。吉本さんが、  
愛しい人々と団らん食  
卓の思い出も、あたたか  
く綴ります。



# 今月のおすすめ!

〜 新しい時代へ 〜



永田和弘  
『知の体力』  
新潮社 (2018)  
(914.6ナ)

細胞生物学者であり歌人でも  
あり著者。永田和弘さんによ  
本書、目次を見ただけで難打

言葉に出会い、ページを繰れば、その行(け)の  
気遣いに圧倒され、そして読後——。「知の体力」  
とは何かを身を持って実感するでしょう、ぜひ!

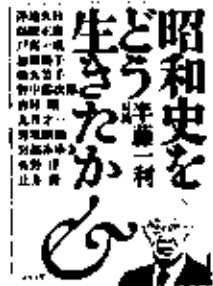
井川直子

『変わらない店』  
河出書房新社 (2018)  
(673.9イ)

平成の若き世代にちがひ尊敬  
する「昭和」味を帯び、店を営  
再会に生きてきた人たちの能力に  
迫ります。

半藤一利  
『昭和史をどう生きたか』  
文藝春秋 (2018) (210.7ハ)

次の時代につなぐために全大人  
必読! と思います。昭和を生きた



くらべる日本



おかべたかし文・  
山出高士著  
『くらべる日本』  
東京書籍 (2018)  
(361.4オ)

時代や地域でこれだけにも違う「モ」いろいろ!  
これほどから会話もふくらみ多様性感謝です!

斎藤貴男  
『勇気を失うな』  
心に太陽を持って』  
同時代社 (2018)  
(304サ)

身近な問題を通じ  
「分断社会と向き合う」に、



情報の読み取りがトレーニングできるとか  
よって一冊。タイトルに込められた心遣いは  
ホントに可!